

<学生・研修医のみなさんへ>

糖尿病や内分泌疾患を診療する際は、検査データが大変重要ですので、つい電子カルテばかり目が行ってしまいます。でも、まず診療の基本の問診や身体所見をしっかり取る習慣を身に付けてください。重要な情報が隠れているかもしれません。

<患者さんへ>

食事療法、運動療法が治療の柱になる糖尿病はもちろん、どんな疾患でも自分の病気についてよく知ることとはとても重要です。診療の際、分からないことは遠慮なく質問し、疾患の理解を深めてください。病状が良くなるきっかけになるかもしれません。

筒井内科クリニック 院長 宮腰将史